

# 令和2年度 事業報告

## 《 概要 》

令和2年度事業においては、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため規模の縮小、活動の休止や延期を余儀なくされる事態が続いた。一方で、生活福祉資金特例貸付のように、コロナ禍においてこそ必要とされる新たな事業についても臨機応変に対応することとなった。こうしたすべての事業の実施にあたっては、参加者及び関係者の感染拡大防止の配慮を加えたうえで、「ともに生きる豊かな地域社会」の実現に向け、コロナ禍における地域、人と人との新たなつながりづくりの構築、持続可能な地域づくりと地域生活課題の解決を目指し、様々な事業を展開した。

生活困窮世帯への支援事業については、感染拡大により収入が減少した世帯の急増を受け、必要とされる多くの世帯に対して生活福祉資金特例貸付を実施、緊急時の「いのち」と「暮らし」を守る一翼を担った。

高齢者福祉事業では、訪問の際の感染症予防対策を入念に行った上で高齢者見守り調査等を実施。友愛訪問、ふれあい給食など高齢者への地域見守り活動については、ソーシャルディスタンス確保の制約が続く中、新たに非接触型の活動について提案するなど、地域での介護予防・仲間作り活動を支援した。

子育て支援事業では、子育てサークルや児童館、学童保育コーナーにイベント講師等を派遣して豊かな生活体験の場を提供するとともに、児童館を中心とした地域の子育てネットワークづくりを進めた。また、学童保育事業においては、緊急事態宣言発令中も仕事を休むことのできない保護者からの要請があった児童に対して、クラスター防止の配慮を徹底し活動室の確保等の感染予防対策を講じたうえで事業を継続した。

ボランティアセンター事業では、感染症感染予防のため施設等の活動先の制限が続くなか、コロナ禍での活動を支援するチラシの作成、感染症対策を行った上でのボランティアルームの貸出しなど行った。小中学校の特別支援学級でサポートを行う「学校ボランティア養成講座」については、学校での活動を映像で紹介するなど、例年とは講座内容を変更し実施した。

地域福祉ネットワーク事業では、ネットワークを中心に既存の制度やサービスでは対応しにくい課題をかかえる世帯への支援を行うとともに、ひきこもりの方と家族の居場所を定期的に開設した。また新たに、区役所内関係課と連携し、学校の長期休業中に、コロナ禍の影響を受けた要援護世帯への見守り・食支援を実施した。

「垂水区社会福祉法人連絡協議会」(ほっとかへんネットたるみ)の事務局を担い、活動が制限される中、会議の開催方法を変更しリモートで意見交換するなど、今後の活動のあり方について区内社会福祉法人と課題を共有し、地域貢献活動と地域課題の解決に向けて取り組んだ。

また、共同募金・歳末たすけあい募金の配分金や善意銀行等の資源を活用し、区民ひとりひとりが住み慣れた地域社会で安心して暮らせるよう様々な福祉活動の推進を図った。

法人運営においては、法令を遵守し、公益性の高い非営利・民間の福祉団体であるとともに地域に開かれた組織として、経営の透明性と中立性、公正さの確保を図るために、経営組織のガバナンスの強化、財務規律の強化等を進め、諸規程の整備や体制の強化を図った。

※以下に示す件数等はすべて令和2年度実績です。

## 1 理事会・評議員会等の開催

- ① 第1回理事会(決議省略、議案承認日:令和2年6月9日(火))※新型コロナウイルス感染拡大防止のため  
(議事)令和元年度決算報告・令和元年度事業報告  
顧問の委嘱、評議員選任・解任委員会委員の補充選任  
新役員(理事)候補者の提出議案  
評議員候補者の選任及び評議員選任・解任委員会の招集  
定時評議員会の招集・提出議案
- ② 第1回評議員選任・解任委員会(令和2年6月9日(火)開催)  
(議事)評議員の選任

- ③定時評議員会(決議省略、議案承認日:令和2年6月24日(水))※新型コロナウイルス感染拡大防止のため  
(議事)令和2年度決算報告・令和2年度事業報告  
新役員(理事)の選任
- ④第2回理事会(決議省略、議案承認日:令和2年7月3日(金))・※新型コロナウイルス感染拡大防止のため  
(議事)副理事長の選定
- ⑤第3回理事会(令和3年3月9日(火))  
(議事)令和2年度補正予算(案)  
令和3年度児童館の管理運営に関する業務の受託契約(案)  
令和3年度事業計画(案)・令和3年度予算(案)  
令和3年度役員等賠償責任保険の加入  
評議員会の招集・提出議案
- ⑥第2回評議員会(令和3年3月22日(月))  
(議事)令和2年度補正予算(案)  
令和3年度事業計画(案)・令和3年度予算(案)

## 2 広報・福祉啓発活動の実施

### 1) 広報紙「区社協だより たるみ」の発行(年1回/110,000部)

【決算額:1,094千円 財源:地域福祉推進基金 510千円 市社協補助金等】

本会の活動を紹介し、福祉活動への参加を促進するため広報紙を発行し、区内全世帯に配付した。

第46号(令和2年10月1日発行)

(内容) With コロナの地域福祉活動、エンディングノート・終活セミナー案内、各相談授業、令和元年度共同募金活動報告、令和元年度明日に架けるたるみ応援ハートブリッジ助成採択団体紹介、孫育て講座案内、拠点児童館イベント紹介、人権啓発ポスター、善意銀行事業案内、インフォメーション、たるたるハート(ボランティアセンターだより)

### 2) ホームページの運営 (<http://www.tarumi-csw.or.jp>)とSNSの発信

【決算額:105千円 財源:市社協補助金等】

ホームページで本会の事業紹介、講座・イベント・ボランティア募集等の情報提供や公式ツイッター、職員ブログ「かんらかんら」の運営を行った。また、「with コロナ」に対応した、多様なネットワークによる新しい地域福祉活動のカタチを目指す取組み「Re<sup>3</sup>(れれれ)大作戦」について、SNSにより発信した。

#### ① ホームページ情報発信および閲覧状況

本会情報発信回数:126回

ホームページ閲覧者数:延べ36,063件(令和元年度14,951件/前年度比241%)

1ヶ月平均の閲覧:3,005件(アクセス端末:パソコン28.6%・モバイル68.7%・タブレット2.7%)

#### ② ツイッター発信回数 152回

#### ③ ブログ発信回数 19回

### 3) 2020たるみ福祉フェア 【決算額:21千円 財源:共募】

高齢者・障害者・児童等の福祉の現状を紹介するとともに、地域で互いに助け合うため、また福祉活動への参加のきっかけとして、新型コロナウイルス感染拡大防止のため例年より規模を縮小してフェアを開催した。

(日 時)令和2年10月7日(水)~9日(金)

(場 所)垂水区役所1階・2階

(共 催)垂水区役所健康福祉課

区 分	内 容
展示・活動紹介コーナー	赤い羽根共同募金ポスター展、区内の児童館・福祉施設・団体などの活動紹介と作品・製品の展示
ふれあいコーナー	バザーの実施(障がい福祉サービス事業所出店)

#### 4)たるみっこまつり

開催延期 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため

#### 5)ポスタープリンターの利用貸出

【決算額：49千円 財源：善銀49千円(売上額：12千円)】

地域で各種事業・行事の横断幕やポスターなどを、イメージどおりに手軽にかつ安価に作成し、地域福祉活動推進の一助とすることを目的としてポスタープリンターを設置し利用貸出を行った。

(利用貸出数)3回

#### 6)福祉教育の推進

【決算額：450千円 財源：共募】

高齢者疑似体験用具・アイマスク・車いすなどを学校等に貸し出し、福祉教育の推進を図った。

	高齢者疑似体験用具	車いす	アイマスク	白杖	点字板
保管数	8	7	50	13	40

(貸出実績) 小学校 14件、中学校 2件、施設他 6件 合計：22件

### 3 高齢者福祉の推進

#### 1)地域支え合い活動の推進

【決算額：230千円 財源：市受託金】

民生委員児童委員や友愛訪問ボランティア、あんしんすこやかセンターの地域支え合い推進員等と連携・協働しながら、地域住民による見守りや支え合い活動を進めるためのコミュニティづくりやネットワークづくりを支援した。また、区内で活動しているふれあい給食会グループ、つどいの場グループに対し、感染症予防対策のためのアルコールを配布した。

(アルコール配布) 30グループ

(小地域支え合い連絡会への出席) 延べ41回

#### 2)生活支援体制整備事業(協議体の運営)

【決算額：190千円 財源：市受託金】

本会生活支援コーディネーターを中心に、高齢者の仲間づくりや健康づくり、社会参加の機会の拡大、生活支援の取り組みを進めた。

##### ①高齢者疑似体験会の開催

舞多聞地区で、高齢者の視点に立った地域づくりを考えるきっかけを作るために開催。

(日 時) 令和2年11月21日(土)午前10時～11時30分

(場 所) 舞多聞地域福祉センター

(内 容) サポーターやおもりを用いて、高齢者の体の動きの制限や資格・聴覚の特徴等を体験してもらう

(参加者) 22名

#### 3)見守り推進員(高齢世帯生活援助員)派遣事業にかかる統括業務

【決算額：660千円 財源：市受託金】

ひとりぐらし高齢者が多い災害復興公営住宅等に設置したあんしんすこやかルームに配置された見守り推進員(高齢世帯生活援助員)を統括し、高齢者の身近な見守り拠点としての活動を支援した。また、令和2年度での事業終了に伴い、各自治会や住民への説明を行った。

【区内あんしんすこやかルーム／2か所】

「あんしんすこやかルーム きたまいこ」(市営北舞子第四住宅)

「あんしんすこやかルーム あすなろ」(県営東垂水住宅)

4)コミュニティサポートグループ育成支援事業 【決算額:104千円 財源:市社協補助金】

見守りや支え合い活動が必要な地域において、住民によるふれあい喫茶や食事会、体操教室などのつどいの場及び助け合い活動の立ち上げのため、あんしんすこやかセンターの協力のもと活動グループに対して活動費の助成を行った。また、令和2年度で当事業は終了し、3年度以降は「つどいの場支援事業」に引き継がれる。

(助成実績)

地域貢献活動	介護予防促進	コミュニティづくり	合計
0	2	6	8

5)つどいの場支援事業 【決算額:144千円 財源:市社協補助金】

地域住民などによって自主的に運営される「つどいの場」26事業を支援した。また、つどいの場グループを運営しているボランティア団体を対象に「コロナ禍で注意すべきこと」について研修会を開催した。

①(日 時)令和2年7月13日(月)午後2時～3時30分

(内 容)講義「食中毒予防と衛生管理について」

講師:垂水衛生監視事務所

講義「コロナ禍で注意すべきこと」

講師:垂水区保健センター 足立保健師

(参加者)12名

②(日 時)令和2年11月16日(月)午後3時～4時30分

(内 容)説明「飲食再開の注意点、手洗い・消毒のコツ、年度末の精算について」

(参加者)17名

6)ひとりぐらし高齢者友愛訪問ボランティア活動への支援

【決算額 5,800千円 財源:市補助金 4,665千円、善銀 1,135千円】

ひとりぐらし高齢者等へ訪問や電話による見守り活動等を行っているグループに対し、運営費の助成を行った。

(活動実績)

グループ数	対象高齢者数	ボランティア数	活動回数(安否確認)
232	2,690	1,081	273,807

①友愛訪問ボランティア等を対象に研修会を開催

(日 時)令和2年11月25日(金)午後1時30分～4時

(内 容)講演「遺品整理の現場から見える地域のきずな」

講師:メモリーズ株式会社 横尾将臣氏

(参加者)151名

7)ひとりぐらし高齢者ふれあい給食会活動への支援

【決算額 5,396千円 財源:市補助金 4,656千円、共募 740千円】

ひとりぐらし高齢者等の閉じこもり防止やふれあい交流を目的に給食会活動を行っているグループに対し、運営費の助成を行った。

(助成実績)

グループ数	延べ参加高齢者数	延べ参加ボランティア数	延べ実施回数
37	9,697	2,988	289

- 8)ふれあい給食活動グループへのバス旅行助成 【決算額 180 千円 財源:善銀】  
善意銀行助成要綱に基づき、バス旅行を行う給食会活動グループに対し、経費の助成を行った。

(助成実績)

助成金額(円)	助成団体数	計(円)
30,000	2	60,000
60,000	2	120,000
計	4	180,000

- 9)高齢者見守り調査の実施 【決算額 2,484 千円 財源:市受託金】

見守りが必要な高齢者の状況を把握するために、新たに70歳以上の単身となった高齢者世帯及び75歳以上の高齢者のみとなった世帯に対し、郵送による事前調査の後、民生委員が訪問して緊急連絡先や生活状況の把握に努めた。また、訪問の際の感染症予防対策として、フェイスシールドを全民生委員へ配布し、安心して調査にあたることのできる態勢を整えた。

(郵送調査の対象世帯数)

新たに70歳以上の単身となった世帯 1,148 世帯  
75歳以上の高齢者のみ世帯 766 世帯

- 10)たるみおたよりらぶの実施 【決算額:67 千円 財源:共募】

ひとり暮らし高齢者・障がい者等の希望者に対し、ボランティアが絵手紙・切り絵など趣向をこらした手作りのカードを製作し、月1回送付した。

(送付希望者数) 平均 95 名

(活動ボランティア数)平均 14 名

※4・5・6月は緊急事態宣言発令のため手作りでの制作を中止し、お手本のコピーを郵送した。

- 11)たるみふれあい電話の実施(テレフォンサポート事業)

【決算額:169 千円 財源:市社協補助金】

ひとり暮らし高齢者・虚弱者等に対して、ボランティアが週1回電話をかけ、安否確認、孤立防止、相談等を行った。

(対象者数) 24 名

(ボランティア数) 8 名

- 12)車いすの貸出し 【決算額:102 千円 財源:共募】

地域福祉センター(25ヶ所)及び本会事務局に車いすを配備し、区民に無料で貸出しを行った。

(貸出件数)事務局貸出実績 計 246 件

(貸出期間)当日から最長 60 日間

- 13)エンディングノート(垂水版)の配布 【決算額:81 千円 財源:善銀】

「今をよりよく自分らしく生きる」ための情報を提供し、地域で安心して暮らし続けたい区民をサポートすることを目的として、善意銀行の金銭預託の払出しを受け、エンディングノートを配布した。

(交付実績) 計 1,594 冊

14)いきいき終活セミナーの開催 【決算額:90千円 財源:市社協補助金】

もしもの時に備えて、周りの人へのメッセージとして、そして何よりも今をより良く生きるために、エンディングノートの書き方、活用方法についてセミナーを開催した。当初の募集人数 30 名を大きく超える方より申込があったため、急遽会場を変更し実施した。

- (日 時) 令和 2 年 11 月 4 日(水)午後 1 時 30 分～3 時 30 分
- (場 所) 垂水区文化センター レバンテホール
- (講 師) 整理収納アドバイザー 竹裏由佳 氏
- (内 容) エンディングノートの書き方
- (参加者) 220名

15)介護予防体操のためのプロジェクター支給事業 【決算額:80千円 財源:善銀】

主に高齢者を対象にしたつどいの場の主催者にプロジェクターを支給し、体操のDVDを利用することで専門の講師がいなくても簡単に介護予防体操ができる活動を促した。

(支給実績) 計 6 グループ

#### 4 児童福祉の推進

1)児童館の運営 【決算額:76,423千円 財源:市社協受託金他】

児童館3館(愛垂・東垂水・星陵台)及び3カ所の学童保育コーナー、1カ所ののびのびひろばの職員雇用、人事管理、職員配置等を行い、館の運営を行った。

社協運営児童館・コーナー利用者数等 ※「月平均」の数値は小数点以下四捨五入  
利用者(すべての利用者)数

	月平均	年度合計
愛垂児童館	1,181	14,179
高丸コーナー	1,030	12,366
高丸ののびのびひろば	189	2,275
東垂水児童館	904	10,856
福田コーナー	891	10,692
星陵台児童館	1,218	14,627
東舞子コーナー	1,159	13,910
合計	6,572	78,905
合計(児童館)	3,303	39,662
合計(コーナー)	3,080	36,968
合計(のびのびひろば)	189	2,275

学童保育登録者数

	月平均
愛垂児童館	63
高丸コーナー	73
東垂水児童館	47
福田コーナー	78
星陵台児童館	64
東舞子コーナー	112
合計	437

学童保育延長登録者数

	月平均
愛垂児童館	16
高丸コーナー	10
東垂水児童館	11
福田コーナー	10
星陵台児童館	19
東舞子コーナー	19
合計	85

学童保育高学年登録者数

	月平均
4年生	51
5年生	15
6年生	4
合計	70

- 2) 区内児童館のネットワークの強化及び活動支援 【決算額:421千円 財源:市社協受託金他】  
 他団体運営の児童館を含め、区内15児童館のネットワーク強化と活動支援、地域の子育て支援事業の推進に取り組んだ。

① 訪問・巡回実績 【決算額:105千円 財源:市社協受託金】

内 容	回 数
情報管理・放課後児童クラブ・安全管理指導	33
その他	34
合 計	67

② 指導員研修 【決算額:48千円 財源:市社協受託金】

日 程	内 容	参加者数
6月26日(金)	「企画力の向上について」	16
10月20日(火)	「企画力の向上について」	14

③ 放課後児童支援員研修 【決算額:54千円 財源:市社協受託金】

日 程	内 容	参加者数
10月21日(水)	「要支援児童の対応について」	30
12月8日(火)	「自立を促す子どもへの指導～叱らない指導」	38

④ 区内児童館合同館長会

日 程	内 容	出席館数
9月15日(火)	令和2年度児童館事業について、情報交換、情報提供	15

⑤ 垂水区児童館・学童保育コーナーへのイベント派遣事業【決算額:115千円 財源:共募】

垂水区ボランティアセンター等に登録している団体を見守り館等に講師として派遣し、児童に対しての多彩な活動を支援した。

(派遣実績)

内 容	回数	参加者数
すとりベリーじゃむとあそぼう	3	128
元気！わくわくキッズヨガ	3	109
紙芝居がやってきた	1	37
マジックを楽しもう	3	116
演劇の世界をのぞいてみよう！	1	29
作ってみよう 長いクラフトテープで何ができるかな	2	20
絵手紙や折り紙を使ったおたよりを作しましょう	3	47
エコすごろく、魚釣り	2	61
エコ工作に挑戦して楽しもう	3	76
合 計	21	623

⑥ 垂水区児童館合同行事 【決算額:0千円 財源:市受託金】

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

⑦子ども・子育てサポート事業の実施 【決算額:100 千円 財源:市社協受託金】

(1)名谷子育てサロン

親子遊びを中心に、あそび・交流を通して子どもと子育て家庭への支援のため、児童館の設置がない地域で「出前児童館」を実施した。

(実施期間・回数)令和2年7月6日(月)～令和3年3月8日(月)(計8回)

(場 所) 名谷学童保育コーナー

(対 象) 就学前の乳幼児

(参加者) 26 名

(2)舞多間子育てひろば立ち上げ支援 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催せず

3)子育て支援事業の実施

① 子育てコミュニティ育成事業の推進 【決算額:182 千円 財源:市社協補助金】

地域の子育てコミュニティ形成を目的に、日曜・祝日に児童館を開放するなどして、様々なイベントや事業を実施していただいた。

(令和2年度実施回数)延べ 20回(3館の合計)

(内 容)親子体操・バルーン遊び・自由遊び等

② 地域の子育てサークルへの講師派遣事業の実施

【決算額:130 千円 財源:市社協地域福祉推進基金】

区内の子育てサークルの活動を支援するために専門講師等を 15 サークルに派遣した。

(派遣実績)

内 容	回	参加数
スキンシップでリラックス ベビーマッサージ・ベビヨーガレッチ	1	17
親子でハッピータイム	2	25
わらべうたと手作りおもちゃであそぼう	3	38
親子ヨガ 身体を使って コミュニケーション&リラックス	7	134
音楽とあそび! Let's Play リトミック	2	29
合 計	15	243

③ 孫育て講座 【決算額:27 千円 財源:市社協地域福祉推進基金】

核家族化の進行等の社会的背景を踏まえ、近い将来孫をもつ予定の方や既に孫を育てておられる方を中心に専門家による講座を開催し、最近の育児情報を提供した。講師は、「孫育ての教科書」の著書である臨床心理士の井上淳子氏。

(日 時) ・①令和2年10月26日(月)13:30～15:30 乳幼児編

②令和2年11月2日(月) 13:30～15:30 思春期編

(場 所) 垂水区役所3階

(参加者) ①祖母5名 祖父予定者1名 祖母予定者2名 計8名

②祖母8名 計8名

合計16名

5 障がい者福祉の推進

1)垂水区地域自立支援協議会の運営参加

障がい者の自立と社会参加の促進を目的に、区内の障がい者福祉施設、教育・行政機関等とともに垂水区地域自立支援協議会の運営に参加した。(運営委員会、就労支援部会、らいぶ等)協議会の活動を通じて、情報発信や各種課題の検討を行った。



2)障がい者福祉団体への助成 【決算額:220 千円 財源:善銀】

障がい者福祉団体の活動を支援するため、5 団体に対し、善意銀行の助成を行った。

(助成団体数) 5 団体

(助成金額) 44,000 円(1 団体あたり)

3)障がい者福祉サービス事業所等への支援 【決算額:506 千円 財源:善銀】

区内の障がい福祉サービス事業所等に対し善意銀行から助成を行った。

(助成事業所数) 23 ヶ所

(助成金額) 22,000 円(1 事業所あたり)

また、障がい福祉サービス事業所が自主製品を販売し、働く仲間たちの工費アップを図ることを目的に、毎月1回、区役所1階ロビーにおいて「たるみアンテナショップ」を開催した。

(共催:垂水区地域自立支援協議会)

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、緊急事態宣言発令中の4月・5月、1月・2月は開催せず。

4)みんなで学ぼう初めての手話講座(開催中止) ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため

## 6 ボランティア活動の推進

### 1)ボランティアセンターの運営

ボランティアセンターでは、ボランティア活動をしたい方(団体・個人)とボランティア活動に来てほしい方(団体・個人)を結びつけるためのコーディネート(連絡調整)、ボランティア同士の交流や情報交換、ボランティア講座の開催などボランティアの育成支援、啓発、相談等を行った。

コロナ禍での活動を支援するため、各区ボランティアコーディネーターの協働により、『コロナ禍でのボランティア活動について』のチラシを作成し、ボランティア・受け入れ施設等の双方に配布した。

また、感染対策をしながら活動しているボランティアの所へ出向き、取材を行い、区社協ホームページで紹介した。

垂水年金会館内に設置するボランティアルームには、ソーシャルディスタンス・常時換気・手指消毒についての注意を掲示、消毒備品を設置し、感染対策を行った上で貸出し、ボランティアの会議、打合せ等の活動を支援した。

※緊急事態宣言発令中は、ボランティアルームの貸出しは中止した。

(運営実績)

ボランティア登録数(令和3年3月末)		ニード申込件数		マッチング数		ボランティア ルーム 利用件数
団体	個人	団体	個人	団体	個人	
256	222	34	41	55	35	318

マッチングの内容 (内訳)	出演 レクリエーション	外出 支援	作業 補助	生活 支援	技能 活用	指導	地域 交流
件数	22	32	4	22	1	1	8

### 2)ボランティアセンターだより「たるたるハート」の発行

【決算額:236 千円 財源:市社協助成金】

ボランティア活動への理解を深め、活動への参加を促進するため、広報紙を年5回発行し、ボランティア(団体・個人)や区民、社会福祉施設等に配布した。

(内容)ボランティアの活動紹介、募集、各種講座案内、各種助成金案内等

- ① 第 138 号(令和2年 4月 15 日発行)
- ② 第 139 号(令和2年 7月 1日発行)
- ③ 第 140 号(令和2年 10月 1日発行)※広報紙「区社協だより」合併号／全世帯配付
- ④ 第 141 号(令和2年 12月 1日発行)
- ⑤ 第 142 号(令和3年 3月 1日発行)

### 3)いかなご倶楽部(居場所事業)の開催

活動の紹介が難しいボランティアなどを対象に、活動場所の提供と引きこもり防止を目的として、定期的に開催した。

- (内容) 封入作業・共同募金関係などの軽作業。
- (開催数) 3回(11・12・3月) ※1・2月 は緊急事態宣言発令で中止した。
- (のべ参加者数) 10名

### 4)講座・交流会等の開催

- ①みんなで学ぼう初めての手話講座の開催 5-4)再掲  
(開催中止)※新型コロナウイルス感染拡大防止のため

- ②学校ボランティア養成講座の開催 【決算額:280千円 財源:市社協補助金】  
小中学校で支援を必要としている子どもたちの障がいについて学び、特別支援学級等で学習の見守りや付き添いをサポートするための知識・理解を深めるために開催し、受講後は活動につながっている。

第1回「学校でのボランティアについて」

(日 時) 令和2年 11月5日(木)午後1時半～4時

(講 師) motto ひょうご 事務局長 栗木剛 氏

第2回「特別支援学級について」

(日 時) 令和2年 11月19日(木)午後1時半～4時

(講 師) ボランティア活動者・ボランティアセンター

第3回「こまり感を持っている子どもたちへのサポートについて

～困っている子どもを笑顔に～

(日 時) 令和2年 11月26日(木)午後1時半～4時

(講 師) 神戸市教育人材センター 専門相談員 小川信子 氏

(延べ参加者) 88名

- ③学校ボランティアミーティングの開催 【決算額:108千円 財源:市社協補助金】  
(開催中止) ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため

- ④「LINE でつながり作り講座」の開催 【決算額:145千円 財源:市社協補助金】

コロナ禍で活動機会が減り、ボランティア同士のつながりも希薄化している。離れていてもつながりを継続する、また新たなつながり作りの手段として、コミュニケーションアプリLINE の操作方法に触れる機会をつくるために開催し、大学生ボランティアがサポーターとして参加した。

(日 時) 令和2年 11月11日(水)午後1時～3時

(場 所) 垂水区役所 大会議室

(講 師) NPO 法人ふおーらいふ 副理事長 矢野良晃 氏

(参加者) 15名(登録ボランティア)

(学生ボランティア) 9名(神戸市外国語大学ボランティアコーナー)

- ⑤「ボランティア The 談会」の開催 【決算額:26千円 財源:市社協補助金】

ボランティアセンターに登録する団体・個人等の情報交換のため開催した。主にボランティアセンターが関わる年間行事(たるみっこまつり、垂水区民スポーツの日、ボランティアまつり等)が、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止になったが、今後のボランティアまつり等の開催方法・運営について検討した。The 談会の中で「LINE でつながり作り講座」を開催した。

(日 時) 4回(7・9・11・3月 午後1時半～3時)  
 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4・5・1・2月は中止  
 (場 所) ボランティアルーム(年金会館3階)  
 (参加者) 平均 21団体 36名

- ⑥ 「ボランティアまつり」～みんなであそぼうたるみフェスタ～ 【決算額:0千円 財源:共募】  
 (開催中止)※新型コロナウイルス感染拡大防止のため
- ⑦ 「たるみっこまつり」への参加 2-4)参照 【決算額:0千円 財源:市受託金】  
 (開催延期)※新型コロナウイルス感染拡大防止のため
- ⑧ 「垂水区民スポーツの日」 【決算額:0千円 財源:共募】  
 (開催中止)※新型コロナウイルス感染拡大防止のため

## 5)ボランティア活動への助成

ボランティア活動を支援するため、ひょうごボランティア基金の県民ボランティア活動助成、および神戸市社会福祉協議会ボランティア基金ボランティアグループ活動助成の受付を行った(助成等実績)

	エントリー受付	申請受付
県民ボランティア活動助成	88件	57件(1,596,000円)
市社協活動助成	—	38件(450,000円)

## 6)災害ボランティアセンター運営のための啓発活動 【決算額:112千円 財源:市社協補助金】

県立舞子高校環境防災科3年生を対象に、災害ボランティアセンター運営のための講座を実施した。災害支援の現状や現場でのボランティアの役割について学び、災害ボランティアセンターの運営について学ぶ機会となった。また、『X(クロス)』というカードゲームを使用し、テーマに基づいて、生徒自身で考えてもらう時間を設けた。

(日 時) 令和2年12月17日(木)午前8時55分～11時45分  
 (講 師) NPO法人ふおーらいふ 副理事長 矢野良晃 氏  
 (参加者) 生徒38名

## 7 地域福祉の推進

### 1)共同募金・歳末たすけあい募金運動の推進

赤い羽根共同募金、歳末たすけあい募金の運動に協力するとともに、共同募金を財源とした福祉啓発事業や民間福祉活動等への助成を行った。また、期間拡大運動では兵庫県立神戸商業高校の生徒の協力のもと、たるみ観光大使「ごしまる」を使用した「ごしまる缶バッジ・マグネット」や「ごしまるクリアファイル」を使用した募金活動を行った。

兵庫県立神戸商業高校生徒に対しては、垂水区自立支援協議会就労支援部会とともに、障害者の就労支援と共同募金について授業を行った。

(日 時) 令和2年10月27日(火)  
 (場 所) 兵庫県立神戸商業高等学校  
 (内 容) 「障害者の就労支援と地域とのつながり」  
 垂水区地域自立支援協議会就労支援部会  
 「赤い羽根共同募金て何だろう」  
 垂水区共同募金委員会(垂水区社会福祉協議会)

また、新たに共同募金啓発ポスター展における 垂水区共同募金委員会会長賞・垂水区長賞受賞作品を用いた、募金資材「オリジナルメモパッド」を作成するとともに、昨年に引き続き地元企業、株式会社レーブドゥシェフ協力のもと、募金百貨店プロジェクトに取り組み、募金促進を図った。

① 令和2年度募金実績

- a. 赤い羽根共同募金(10月～3月) 7,115,132円
- b. 歳末たすけあい募金 1,998,600円(a.の一部)
- c. 赤い羽根共同募金(1月～3月期間拡大分) 168,843円(a.の一部)

② 令和2年度配分実績

- a. 赤い羽根共同募金 計 2,485,619円  
(令和元年年度共同募金実績が令和2年度事業費となる)

配分対象活動	対象団体数	配分額(円)	配分先
高齢者福祉活動費	41	806,215	給食会、おたよりくらぶ
障がい者(児)福祉活動費	1	10,000	発達障がい児支援事業
児童・青少年福祉活動費	9	115,390	児童館・コーナーイベント派遣事業、講師費用
ボランティア活動費	68	51,372	ボランティア活動支援
たるみ応援ハートブリッジ助成 (公募助成) ボランティア活動費	9	490,036	神戸少年の町 NPO 法人ワトワーズ多聞台、 名谷 SR ほのぼの会 Salt of the Earth 東舞子青松会 さくらシニア歌の会 五色山2丁目南自治会、 NPO 法人ポポロ 神和台エコー
地域福祉推進活動費	-	1,012,606	区社協だより配布費他
合計	128	2,485,619	

- b. 歳末たすけあい募金 計 1,998,600円(令和2年度募金が令和2年度事業費となる)

配分対象活動	対象者数	配分額(円)	配分先
ひとりぐらし高齢者 地区行事	9,668人	1,998,600	18地区民児協

③ 明日に架ける「たるみ応援ハートブリッジ助成」の実施【決算額：1,490千円 財源：共募、善銀】

赤い羽根共同募金配分金と善意銀行預託金を財源に、区内の地域福祉を推進する団体を公募し、助成した。

助成金額上限300,000円の一般助成枠に加え、今年度より助成金額上限100,000円でプレゼンテーション不要の小規模助成枠を設けた。

(一般助成実績)

助成団体・施設	申請額(円)	助成決定額(円)	助成対象事業
神戸少年の町	300,000	300,000	児童養護施設 事業
特定非営利活動法人 ワトワーズ多聞台	300,000	300,000	アサギマダラで繋がる 花とみどりのまちづくり 事業
名谷 SR ほのぼの会	297,000	297,000	名谷あじさい公園 あじさい植栽 事業
3団体・施設 計	897,000	897,000	

(小規模助成実績)

助成団体・施設	申請額(円)	助成決定額(円)	助成対象事業
Salt of the Earth	94,000	94,000	子ども食堂・学習支援 事業
東舞子青松会	100,000	100,000	地域の高齢者福祉向上 及びふれあい 事業
さくらシニア歌の会	99,000	99,000	高齢者のための 地域コミュニティづくり 事業
五色山 2 丁目南自治会	100,000	100,000	災害救急避難時の 一時避難場所提供 事業
NPO 法人 ポポロ	100,000	100,000	知的障がい者就労継続支援 B 型 (「パン製作、販売」) 事業
神和台エコー	100,000	100,000	地域住民のための 健康増進 事業
6 団体・施設 計	593,000	593,000	

④ 啓発ポスター展

共同募金への理解を深めてもらうため、垂水区内の小学生・中学生を対象にポスターを募集し、展示した。

(期 間)令和2年 10 月 7 日(水)～9 日(金)

(場 所)垂水区役所1階ロビー北側

(応募総数)小学生の部 33 点 / 中学生の部 4 点

2)地域福祉ネットワーク事業 【決算額:750 千円 財源:市社協補助金】

地域福祉ネットワークを中心に、生活困窮者や制度の狭間など既存のサービスでは解決できない課題の解決に向けて、専門機関と連携して取り組んだ。また、地域に共通する課題については、解決に向けた仕組みづくりにも取り組んだ。また、生活福祉資金特例貸付の相談受付時、生活福祉資金相談員と連携し、世帯支援を行った。

(個別支援の実績)

・くらし支援窓口などと連携し、生活困窮や社会的孤立などの課題を抱えた方々への個別支援を行った。 新規相談 56 件 課題への支援 延べ 738 回

・生活困窮世帯に対し食糧を提供した。 支援先 21 世帯

(個別支援の代表的な事例)

・息子が買ってくる本やマンガが増えすぎて生活に支障をきたしている 70 代母親と 40 代息子の母子世帯  
母親の介護サービス利用が必要となり、あんしんすこやかセンターやボランティアと共に、本の移動を行い、サービスにつながった。

・重複課題を抱えた、母子世帯

介護、不登校、ネグレクト等重複課題を抱えた母子世帯で、4 年前よりいわゆるごみ屋敷として把握していた。学校、障害者相談支援センター、あんしんすこやかセンター、住宅管理会社、区役所で個別支援会議を開催し、子どもの成長と共に複雑化しつつあった課題について関係機関が共有し、連携しながら支援を続けている。

・家賃滞納で貸付の相談に来会した 70 代女性

家賃が払えず住宅喪失する不安を抱え、貸付相談に来た 70 代女性。相談を進めると、預金があるも銀行から出金ができず、家賃滞納となっていることがわかる。あんしんすこやかセンターや民生委員につなぎ、必要な介護サービスや地域見守りにつながった。

(地域課題支援の実績)

- ・ベルデ名谷住宅内の拠点で夏休み子どもの居場所事業を実施した。

事業名	月日	内容	参加人数
夏休み子どもの居場所	8月4日(月) 6日(木)	宿題支援	延べ15名

- ・「ほっとかへんネットたるみ(垂水区社会福祉法人連絡協議会)」に参画し、ベルデ名谷でのふれあい喫茶などの地域貢献活動に取り組んだ。新型コロナ感染症拡大に伴い、活動が制限される中、今までの活動が停滞しないよう、会議の開催方法を工夫したり、今後の活動の在り方について区内社会福祉法人で共有を図った。

	回数	内容
役員会	11回	定例会(月1回開催、内オンライン2回)
全体会	2回	1月 地区別情報交換(市内のコロナウイルス感染状況について)
		3月 令和2年度決算見込み、令和3年度事業計画・予算案次期役員及び代表選出等
実務者会	1回	11月 研修・情報交換会(コロナ感染対応について) 地区別活動(コロナ禍における地域貢献活動について)

- ・「ひきこもりの方の家族の居場所」を開設した。(令和2年12月より、非公開)  
会場:カフェ「iijo(いいよ)」(社会福祉法人すいせい・就労継続B型施設)

日時	対象者	内容	参加人数
12月10日(木)	家族	お話し「ひきこもりの方とのコミュニケーションのコツ」	6名
1月14日(木)	家族・当事者	自由にお話 ハンドマッサージ施術	4名
3月11日(木)	家族・当事者	自由にお話 ハンドマッサージ施術	4名

(他部署との連携)

「要援護子育て世帯への見守り事業」を実施

垂水区子育て支援室と連携し、虐待等で注意が必要な要援護世帯に対し、食品提供を通じて小中学校の長期休業中の見守り訪問を行った。

(冬休み) 12月28日訪問 6世帯

(春休み) 3月31日訪問 9世帯

3) 善意銀行の運営

広く区民から善意の金品の預託を受け、誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりに寄与することを目的として、社会福祉団体や施設、地域福祉活動グループ等へ払出を行った。

(預託・払出実績)

	預託		払出	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)
金 銭	20	982,908	130	4,258,483
物 品	35	—	30	—

(払出・助成実績)

① 金田基金による助成 2,174,354円

故金田恵三氏の遺贈により創設された基金を財源に、以下の活動に助成した。

助成対象活動	対象数	助成額(円)	先
高齢者福祉活動	232 団体	1,380,000	友愛訪問ボランティアグループ 給食サービスグループ
発達障がい児支援助成	1 団体	50,000	NPO 法人ふおーらいふ
本会に企画提案される 事業(活動)に対する助成	8 団体	287,970	若葉学園 他
本会事業に対する払出	—	456,384	ポスタープリンター貸出事業 エンディングノート配布事業 高齢者見守り調査事業 歩行杖 杖先ゴム交換
計		2,174,354	

※たるみっこまつり出店助成・里親支援助成・視覚障がい者助成 については、新型コロナウイルス感染拡大防止により事業が延期・中止となったため、助成せず。

① 明日に架ける「たるみ応援ハートブリッジ助成」 7 団体 434,925 円

区内の地域福祉の推進のため、企画提案される事業(活動)に対して助成した。

② 土井・上野基金による助成 2 団体 182,033 円

元垂水区連合婦人会会長の故土井芳子氏と、元垂水地区青少年育成協議会会長の上野義夫氏から預託を受けた寄付金で創設された基金(以下「土井・上野基金」という。)をもとに、区内の青少年育成のため、本会へ企画提案される事業(活動)に対して助成(たるみ応援ハートブリッジ助成)した。

③ 山内基金による助成 5 団体 593,000 円

故山内日佐子氏の遺産により創設された山内基金を財源として、故人の遺志を尊重し、区内の地域福祉推進に関する事業や活動に対して助成をした。

助成対象活動	対象数	助成額(円)	配分先
地域福祉活動立ち上げ支援助成	4 団体	193,000	区内団体(構成員 3 名以上)
共同募金運動推進団体助成	1 団体	400,000	垂水区共同募金委員会
計		593,000	

⑤ 単年度実績助成 8 団体・23 施設 792,000 円

区内の自助団体、障害福祉サービス事業所、青少年育成団体に対し、善意銀行への預託実績に基づき、比例按分した額を助成した。

助成対象	対象数	助成額(円)	配分先
自助団体	6 団体	264,000	障害者自助団体他
障がい者福祉サービス事業所	23 施設	506,000	就労継続支援 B 型事業所他
青少年団体	2 団体	22,000	青少年健全育成団体
計		792,000	

⑥ 指定預託の払出 7 団体・79 世帯 126,171 円

当年度に預託があった寄付金のうち、匿名の預託者が区内の寄付先を指定したものについては、これを尊重し、寄付先に払出を実施した。

助成対象	対象数	助成金額	配分先
区内児童福祉施設	7 施設	100,000 円	区内児童館・コーナーのびのびひろば
ひとり親世帯への食の緊急支援	79 世帯	26,171 円	区内ひとり親世帯
計		126,171 円	

5) 民生委員児童委員協議会活動(正副会長研修)への支援

【決算額:0千円 財源:市社協補助金他】 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のための事業中止による

6) 日本語教室の運営 【決算額 600 千円 財源:市社協補助金他】

中国帰国者が多く在住する垂水区神陵台地区の地域福祉振興を図るため、神陵台ふれあいのまちづくり協議会に運営を委託し「日本語教室」を毎週土曜日に開催した。

(開催回数) 24 回  
(会 場) 神陵台地域福祉センター  
(参加者) 190 名

7) 車いすの貸出し 3-12) 再掲

8) ポスタープリンターの利用貸出 2-5) 再掲

8 相談・援助事業

1) 心配ごと相談所の運営 【決算額:103 千円 財源:市社協補助金】

昭和 45 年から区民のよろず相談の窓口として開設している。令和 2 年度の開設日数は 60 日で、運営状況は下記のとおり。相談者は、女性が約 7 割以上を占める。相談内容は家族、苦情、住宅、職業、に関するものが多くみられた。また、相談内容によっては、当会ネットワーカーへ繋いだり、他機関を紹介するケースなど、解決に向けて助言を行った。

相談員対象の研修会は、緊急事態宣言発令により中止した。

(日 時) 毎週火・金曜日、13:00~15:30(昭和 54 年 7 月から週 2 回開設)

(場 所) 垂水区社会福祉協議会内相談室

(相談員) 民生委員・児童委員、保護司など 18 名

① 相談件数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年計
件数	2	2	3	1	5	5	14	7	4	2	0	2	47

※新型コロナウイルス感染症感染拡大による緊急事態宣言発令中の 4 月~6 月、1 月~2 月は、相談員による相談は中止した。

② 相談内容

相談内容	件数	相談内容	件数
生計	2	財産	2
年金	2	事故	1
職業・生業	3	障がい者(児)福祉	2
住宅	3	教育・青少年	0
家族	15	児童福祉・母子保健	0
結婚	0	母子・父子福祉	0
離婚	2	高齢者福祉	2
健康・保健・衛生	2	苦情	6
医療	1	地域福祉権利擁護	0
人権・法律	0	その他	4



## 2) 成年後見制度事前相談室の運営協力

神戸市成年後見支援センターが実施する「成年後見制度事前相談室」の開設、運営に協力した。  
(平成 25 年 9 月開設)

(日 時) 第 2・4 水曜日 13:30~15:30

(場 所) 垂水区社会福祉協議会内相談室

(相談員) 市民後見人養成研修を修了した市民後見人候補者

(相談件数)

月	8	9	10	11	12	1	年計
件数	1	4	5	3	2	3	18

※新型コロナウイルス感染症感染拡大による緊急事態宣言発令中の 4 月~6 月及び 7 月、2 月、3 月は市民後見人による対面相談は中止。成年後見支援センターによる電話相談を実施。

## 3) 元気なうちの税務相談~終活・相続・遺贈寄付~【決算額:100 千円 財源:市社協補助金】

エンディングノートや相続、遺贈寄付等に関心が高まっているため、平成 29 年 8 月より税理士による終活相談窓口(要予約)を開設した。

(日 時) 原則第 3 水曜日、午後 1 時半~3 時半(お 1 人約 30 分程度 先着 4 名迄)

(場 所) 垂水区社会福祉協議会相談室、(相談員) 税理士 浜口 祐介氏

(相談件数)

月	4	7	8	9	10	11	12	1	3	年計
件数	3	4	3	4	4	3	4	4	4	33

※5 月、6 月、2 月は、緊急事態宣言発令により中止

## 4) 生活福祉資金貸付

### ① 通常資金

低所得、障がい者世帯等の経済的な自立、在宅福祉の推進、社会参加の促進を図り、地域社会での安定した生活を支援するため、生活福祉資金貸付の相談・受付を行った。

(貸付決定実績)

資金の種類		件数	貸付決定
			金額(円)
福祉資金(福祉費)	一時的に必要な経費	1	728,400
	エアコン・冷蔵庫購入費	2	102,000
	転宅費	1	138,800
教育支援資金	教育支援費	10	10,105,200
	就学支度費	22	9,717,600
総合支援資金(通常分)		1	600,000
緊急小口資金(通常分)		5	290,000
合 計		42	21,682,000

### ② 新型コロナウイルス特例貸付

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、休業等により収入の減少があり緊急かつ一時的な生計維持のための貸付を必要とする世帯に対し、貸付対象、据置・償還期間など、通常の貸付要件を大幅に緩和して、緊急小口資金・総合支援資金(新型コロナウイルス特例貸付)の相談・受付を行った。

(令和 2 年 3 月 25 日より受付開始)

コロナ禍で経済活動の低迷が長期化する中、失業された方の就労に向けた支援を含め、適切な相談支援が講じられるよう、自立相談支援機関(くらし支援窓口)との連携・つながりを積極的に進めた。神戸市では、各区社協に加え、神戸市社協内にコールセンターを開設し、郵送での相談・申請受付と市内の一部の郵便局・労働金庫においても、申請書類の受付を実施した。

(郵便局・労働金庫での受付は、9月末まで)

また、特例貸付の受付期間は、当初7月末とされていたが、4回にわたり期間延長され、令和3年6月まで実施している。総合支援資金については、3ヶ月の貸付期間終了後に、9月より3ヶ月の貸付延長、さらに、2月19日より3ヶ月の再貸付を実施した。

(令和2年3月25日～令和3年3月31日借入申込件数／垂水区社協受付分)

資金の種類	件数(件)	申請金額(円)
緊急小口資金	1,553	274,750,000
総合支援資金	850	458,280,000